

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2001. 1. 17

参加者 石浦（科学園）高松（仁美小）福井（伊島小）

21世紀最初の例会は参加者3名で始まりました。それぞれの持ち寄った物を見たり話をきいたりしてみると、冬休みの間に3人が三様の研究に没頭していたことがよく分かりました。

【備長炭電池・糸電話の楽器・水蒸気の指導・水ロケットの栓…など】石浦

石浦先生の冬休みは教材開発で充実していたようです。サイエンスフィールドには新しい実験道具や作りかけの材料などがまた増えていました。備長炭電池は直列にすると豆電球が光ること。直列にするには炭と炭を接触させるだけでいいこと。糸電話の楽器は共鳴板としての紙コップの強度を高めるために塩ビ管を購入してるということ。1年生と3年生の子供の興味をもとに水蒸気に関する一連の実験をさせてあげているということ。ペットボトルのキャップに強力な接着剤で水道のコネクターを接着して水ロケットができそうだということ…など、実際にモノを見せながら教えていただきました。

【部落差別のおこり】高松

高松先生の冬休みは人権学習の教材作りで充実していたようです。全17ページの資料は、節目々々に問題を配置し、考えながら学習を進められるように工夫されています。また、とかくイデオロギーが先行しがちな内容ですが、グラフや資料を多様することで科学的に思考できるようになっています。物事を偏見や風聞で判断するのではなく、客観的な事実をもとに判断する。そうすれば不合理な差別も解消できるのではないか。さすがは理科の先生が作った人権学習の教材だと感心しました。

【竹とんぼ】福井

2月25日に小橋一郎先生のおられる県立児童館での科学教室にむけ、竹とんぼ作りを試行しました。

【コンピュータウイルスにやられた話】福井

パソコンがコンピュータウイルスにやられてしまいました。

初めはコンピュータウイルスだとは気づかずに、どうも変だなと思っていると次第にあちこちでアプリケーションソフトの具合が悪くなる。最後はOutlook Expressがまったく動かなくなり、仕方なしに原因が分からないままシステムを再インストールしました。そしてOutlook Expressを開くと、出した覚えのない自分発のメールがあります。訳のわからないまま開けても何も書いてはおらず、添付書類にも何も書かれていませんでした。そのあと岡山の「科学の祭典メーリングリスト」を読むとウイルスの情報が…。が、時すでに遅し。自分のパソコン発のメールで再び感染するという大ドジを踏んでしまいました。その間に発信した兵庫教育大学原体験研究会のメーリングリストに警告とお詫びのメールを送った時点で再びOutlook Expressが動かなくなりました。2度目の再インストールをして情報を収集すると、どうやらウイルスの感染源は天城高校の先生発のメールで、本人も感染に気づいていなかった様子。また、福井が心ならずも仲介してしまった原体験グループでは、私の2度目のメールを見てすぐにウイルスの型を調べ、ワクチンを配布してくれた人がいたのですが、数名が再インストールする被害を出してしまいました。

今回の騒動で分かったことは①メールの本文中に内容についての記載のない添付書類は開かないこと、②自分にその意思がなくても加害者になることがあるということ、③感染したらパソコンが完全に動かなくなる前に検索ソフトでワクチンを探して治すこと、④普段から文書等のデータはフロッピーやMOなどの外部記録媒体に保存しておくこと…などですね。それにしても1週間で2度も再インストールをしたおかげで、環境設定についてはずいぶん詳しくなりましたよ。ははは…。